

関連プログラム

講演会・講座等について

入場無料
 会場・時間／黎明館2階講堂(88席) 13:30~15:00
 申込方法／往復葉書による事前申込
 (令和2年9月10日(木)~26日(土)消印有効)
 変更がある場合は、ホームページで告知します。

A 記念講演会1 令和2年10月10日(土)

◆演題／「島津義弘陣跡の発掘調査成果と肥前名護屋」
 ◆講師／佐賀県立名護屋城博物館 学芸員 村松 洋介氏

B 記念講演会2 令和2年10月17日(土)

◆演題／「鹿児島城の近代」
 ◆講師／鹿児島国際大学国際文化学部 教授 太田 秀春氏

C 記念講演会3 令和2年10月24日(土)

◆演題／「鹿児島城と鹿児島城」
 ◆講師／鹿児島国際大学短期大学部 名誉教授 三木 靖氏

D ふるさと歴史講座 令和2年10月31日(土)

◆演題／「近世の鹿児島城と城下町」
 ◆講師／鹿児島大学法文学部 准教授 小林 善仁氏

E 学芸講座 令和2年11月1日(日)

◆演題／「鹿児島城の城館」
 ◆講師／黎明館 主任学芸員 上村 俊洋

事前申込方法 【申込期間】9月10日~9月26日(消印有効) ※郵便往復葉書使用(私製を除く)

◆記載方法

63	892-0853
往信	鹿児島市城山町7番2号 黎明館講演会係
	空白のまま [応募結果を印刷して 返送します。]
【往信用表面】	【返信用裏面】

63	郵便番号	黎明館企画特別展 関連イベント申込
返信	住所	①講演会・講座(A~E,複数可) ②氏名(ふりがな)・年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤その他
氏名	様	車椅子のご利用、視力、聴力 等の理由により特定の座席 (例:前方)をご希望の場合、 ご記入ください。
【返信用表面】		【往信用裏面】

※同一住所の方で、同一講座ご希望の場合に限り1通につき2名様までお申し込み可能です。
 ※参加者の御氏名・御住所・御連絡先等の個人情報は、新型コロナウイルス感染症の流行状況によって保健所等公共機関へ提供する場合があります。
 ※受講が決定されても、発熱等症状が見られる場合は、受講をご遠慮ください。
 ※当日、受付での検温で発熱等症状が見られる場合は、受講をお断りいたします。

ウィークリー・ミュージアムガイド(御楼門コース)

黎明館常設展示解説員が黎明館常設展示と御楼門の見所をコンパクトに紹介します。

予約
不要

【日時】毎月第2・4日曜日/11:00~12:00
 【集合】黎明館常設展示1階発券所/10:55にご集合ください。
 【料金】黎明館常設展示団体入館料
 (一般:300円,高校・大学生:150円,小・中学生:80円)
 ※県内在住18歳以下の方は無料。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更の場合があります。
 ※会場入場前の手指の消毒、会場でのマスク着用、他の観覧者・聴講者との距離を保つようお願いいたします。
 ※発熱等の症状がある場合は、入場をお断りする場合があります。

- 交通**
- 飛行機 ●鹿児島空港より、鹿児島市内行き空港バス「金生町」下車徒歩10分
 - JR ●「鹿児島中央駅」より、市電・バスを利用
 - 市電・バス ●「鹿児島駅」より 徒歩15分
 - 市電・バス ●「市役所前」下車徒歩7分
 - 市内巡回観光バス ●「隣摩義士碑前」下車すぐ

駐車場 ●照国神社大鳥居をくぐって右折し直進(普通車125台、バス20台)

問い合わせ **鹿児島県歴史・美術センター 黎明館**
 Tel.099-222-5100 〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号
<https://www.pref.kagoshima.jp/teimeikan/>



鹿児島

黎明館企画特別展

の城館

その門をくぐると
 鹿児島城の
 歴史が見えてくる。

令和2年 **9/30** 水 ~ **11/3** 火 **9時~18時** 入館は17時30分まで (初日は10時開場)
 休館日 / 10月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、11月2日(月)

黎明館 観覧料 一般 800円(600円) 高校・大学生 500円(350円) 中学生以下 無料
 障害者(要障害者手帳提示)

※()内は団体20名以上、前売券料金 ※県内の高校・特別支援学校の高等部の生徒とその引率者については、教育課程に基づく学習活動として入館する場合は、観覧料は免除になります。(事前の申請が必要です) ※障害者の方は手帳の提示で観覧料が免除になります。(介添者1名免除) ※前売券は、11月30日から黎明館総合案内、山形屋アレイカイト生協コアかごしま各店サービスカウンター、アミューザ鹿児島、マルキヤガーデンズの各インフォメーション、鹿児島県職員生協窓口、ファミリーマート(イープラス)にて販売

主催 / 黎明館企画特別展「鹿児島城の城館」実行委員会(鹿児島県歴史・美術センター黎明館、南日本新聞社、MBC南日本放送)
 後援 / 鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、NHK鹿児島放送局、KKK鹿児島放送

入館の際は、手指の消毒・マスク着用をお願いいたします。新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更になる場合がございます。

今年3月に竣工し、4月に完成式が行われた御楼門が建つ、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の敷地は、鹿児島県指定史跡「鶴丸城跡」を含む、鹿児島城跡に立地しています。鹿児島城跡にお越しになり、黎明館に来館される方からは、「天守はどこか?」とのお尋ねがあります。

江戸時代、外様第2の石高を有する雄藩である島津家の本拠である鹿児島城に、天守が無い理由として、

- ① 「人をもって城となす」の考えによる外城の整備
- ② 島津貴久・義久以来の薩隅日三州統一から北部九州への拡大、さらに豊臣政権下の朝鮮出兵等の度重なる戦費による財政上の制約
- ③ 関ヶ原の戦いで西軍に属した多くの有力大名が改易・減転封されるなか、本領安堵を最優先に、徳川政権に遠慮した。等が考えられます。

この企画特別展「鹿児島の城館」では、古代・中世を振り返って鹿児島城に天守が無い別の理由を考えるとともに、江戸時代の鹿児島城の様子や、御楼門建設の様子を紹介します。



青磁酒壺
(一乗谷朝倉氏遺跡資料館)

その門をくぐると鹿児島城の歴史が見えてくる。

第1章

後世の交通の要衝に立地する 先史・古代の城郭等

先史・古代の城郭

先史・古代以来、交通の要衝には、大溝で囲まれた集落や古代山城など人々の拠点が築かれていました。

大宰府近郊の宝満山や古代山城である鞠智城跡(熊本県)で出土した古代仏像に類似する金銅菩薩立像が日置市に伝来しています。

古代の南九州に中央国家の関連施設が存在したかもしれません。



左：鞠智城跡出土銅像菩薩立像(複製)(熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温改刻生館保管)
右：吹上町田尻の金銅菩薩立像(黎明館寄託)

第2章

交通の要衝に立地する 中世平地居館・守護所

南九州の中世城館

鎌倉・室町幕府の守護の多くは中央から派遣されて地方国府近くの平野部に統治拠点である守護所を構え、守護の館を方形の平地居館として築きました。各地の守護館では島津氏も関わった貿易によってもたらされた希少品が使われていました。

島津氏の守護所・守護館は、鎌倉時代末～南北朝時代に薩摩国府の川内川対岸の碓山城、大隅進出の拠点として鹿児島市に移ると南北朝時代の東福寺城、室町時代の清水城、戦国時代の内城と、交通の要地に方形区画の平地居館を構えました。

一方で、鉄砲による戦術の変化を経た織豊政権の城郭は天守・高石垣を持つ近世城郭へと変化していきました。



島津久逸起請文案
(国宝 東京大学史料編纂所)



勝安芳日記 肥前唐津名護屋陣所絵図
(佐賀県立名護屋城博物館)



タイ産インゴット・鉛弾
(和歌山市)

第3章

南九州の交通の要衝、 経済の中心に立地する鹿児島城

鹿児島(鶴丸)城

関ヶ原の敗戦の翌年慶長6(1601)年頃から、初代藩主となる島津忠恒(家久)が鹿児島城の築城に着手します。

鹿児島城は、中世の上山城跡周辺を本丸として、山麓(城山の麓)に方形区画の居所を設けました。後には、この居所が本丸扱いされ、天守を持たないものの、巨大な御楼門が造られました。

近年の発掘調査では、黎明館敷地と県立図書館敷地の間の濠の痕跡や、能舞台などが検出されています。

残された歴史・考古資料からは、御楼門や登城に関する規則や、城中での生活の様子を垣間見ることができます。



鳩小屋雛形
(鹿児島大学附属図書館)



鹿児島城絵図控
(国宝 東京大学史料編纂所)



薩藩御城下絵図(鹿児島)
(鹿児島県立図書館)



木村探元「松に鶴鷹の図」
(鹿児島市立美術館)

島津奇形着用陣羽織
(黎明館)

第4章

鹿児島城が機能した時代の建物として143年ぶり、 門自体として147年ぶりに再建された御楼門

鹿児島城のその後

熊本鎮台分営として存続した鹿児島城は、明治5(1872)年の西国行幸の機会に古写真や絵画資料が残されました。同6年の本丸焼失、同10年の西南戦争による二ノ丸以下の焼失によって鹿児島城が機能した時代の建物は全て失われました。西南戦争後、現在の黎明館・県立図書館敷地には人材育成のために学校施設が継続的に営まれてきました。

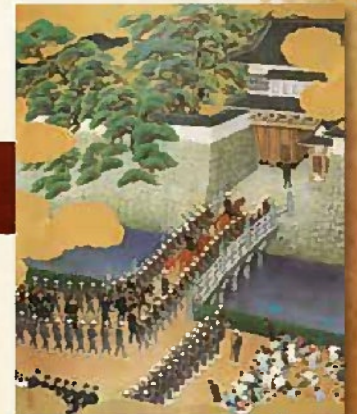
鹿児島大学医学部移転後の黎明館・県立図書館建設や御楼門建設の際には発掘調査を行うとともに、石垣や御楼門の礎石部分などの文化財の保全に留意しました。礎石や古写真の解析によって考証された御楼門が、それ自体としては147年ぶり、鹿児島城が機能した時代の建物としては143年ぶりに再建され、令和2年春、完成しました。



旧御本丸御楼門前之景
(黎明館)



第七高等学校造士館空撮
(黎明館)



石原蒙山模写「明治天皇御巡幸鹿児島城跡之図」
(黎明館)



令和2年3月26日の
御楼門